

65歳以上の方(昭和32年4月1日以前に生まれた方)へ

新型コロナウイルスワクチン接種の お知らせ

接種費用
無料
(全額公費)



未来につながる新型コロナ対策が、ひとつ増えました。

新型コロナウイルスワクチンは、発症を予防し、
重症者や死亡者の発生をできる限り減らすことを目的としています。

新型コロナウイルスワクチンの有効性と安全性

ファイザー社のワクチン(コミナティ®)について

◎ワクチンの効果：

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)による感染症の予防

メッセンジャーRNAワクチンという種類のワクチンです。ワクチンを受けた人の方が受けていない人よりも、**新型コロナウイルス感染症(※)を発症した人が少ない**ということがわかっています。

(発症予防効果は約95%と報告されています。)

(※)新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、症状が重くなると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合があります。



◎ワクチンの安全性：

■接種後、数日以内に現れる可能性がある症状

発現割合	症 状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10-50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1-10%	吐き気、嘔吐



コミナティ®添付文書より改編

- ・接種直後よりも翌日に痛みを感じている方が多いです。
- ・これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
- ・疲労や関節痛、発熱など、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。
- ・接種後すぐにアナフィラキシーや血管迷走神経反射が起こる可能性があります。詳しくは4ページをご参照ください。

ワクチンを受けるのに注意が必要な方など

◎以下に当てはまる方は、ワクチンを受けることができない場合や、注意が必要な場合があります。かかりつけ医等にワクチンを受けてよいかどうかご相談ください。

<p>受けることができない方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○明らかな発熱がある方や、重い急性疾患にかかっている方 ○ワクチンの成分(※1)に対し、重度の過敏症を起こしたことがある方
<p>注意が必要な方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○現在、何らかの病気で治療中の方 <ul style="list-style-type: none"> ・心臓病、腎臓病、肝臓病、血液疾患、免疫不全で治療中の方 ・血が止まりにくい病気の方や、血をサラサラにする薬(※2)を飲んでいる方 ○以下の様な症状が出たことがある方 <ul style="list-style-type: none"> ・薬や食品に対する重いアレルギー症状 ・けいれん(ひきつけ)

(※1) ポリエチレングリコールなどが成分として含まれます。ポリエチレングリコールは、大腸内視鏡検査時に下剤として使用する医薬品を始め、様々な医薬品に添加剤として含まれており、化粧品にも含まれていることがあります。その他の成分や、詳細については、厚生労働省ホームページをご参照ください。

(※2) このワクチンは、筋肉内に注射をします。そのため、抗凝固薬(ワーファリン®、プラザキサ®、イグザレルト®、エリキュース®、リクシアナ®)を内服中の方は、接種後の出血に注意が必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。

受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。



ワクチンを受ける当日について

◎ワクチンを受ける前の注意点

- ・接種前にご自宅で体温を測定し、明らかな発熱がある場合や体調が悪い場合などは、接種を控え、予約した市町村の窓口や医療機関にご連絡ください。

通常、上腕の三角筋に注射するため

肩を出しやすい服装でお越しください。



◎ワクチンを受けた後の注意点

接種会場にて

ワクチンを受けた後は、15分以上は接種会場で座って様子を見てください(※)。

- ※過去にアナフィラキシーを含む、重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、採血等で気分が悪くなったり、失神等を起こしたことがある方は、30分ほどお待ちください。



■接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

○アナフィラキシー

- ・薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。
- ・じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下(呼びかけに反応しない)を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。
- ・起こることはまれですが、接種後にもアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、適切な医療体制を整備しています。

○血管迷走神経反射

- ・ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。
- ・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。
- ・倒れてケガをしないように、背もたれのある椅子に座って様子を見てください。

(※)接種後、数日以内に現れる可能性のある症状については、2ページをご参照ください。